伯夷列伝

名前（　　）　日づけ（　／　）　できた数（　／28）

使い方　書き下し文を声に出して読んでから、傍線の番号を手がかりに解きます。**この文章の山は再読文字「盍」「且」、反語「〜と謂ふべけんや」、そして筆者が「天道は是か非か」と問う理由**です。

範囲＝武王をいさめる場面〜首陽山で餓死、「天道に親無し」〜「是か非か」の論の部分（冒頭の跡継ぎの話は中略）。

あらすじ＝孤竹国の王子の伯夷・叔斉は、西伯昌を頼って行くが、西伯はすでに亡く、子の武王が殷の紂を討とうとしていた。二人は、父を葬らずに戦うのは不孝、臣が君を殺すのは不仁だといさめる。周が天下を取ると、二人は周の穀物を食べるのを恥じて首陽山にこもり、餓死する。筆者は、善人の伯夷・叔斉や顔淵が報われず、悪人の盗蹠が長生きした例をあげ、「天道は是か非か」と問う。

一　次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

伯夷（はくい）・叔斉（しゅくせい）は、孤竹君（こちくくん）の二子（にし）なり。（中略）

是（ここ）に於（お）いて伯夷・叔斉、西伯昌（せいはくしやう）善（よ）く老（らう）を養（やしな）ふと聞（き）き、①盍（なん）ぞ往（ゆ）きて帰（き）せざる。至（いた）るに及（およ）びて、西伯卒（しゆつ）す。武王（ぶわう）、②木主（ぼくしゆ）を載（の）せ、号（がう）して文王（ぶんわう）と為（な）し、東（ひがし）のかた紂（ちう）を伐（う）つ。伯夷・叔斉、③馬（うま）を叩（ひか）へて諫（いさ）めて曰（い）はく、「父（ちち）死（し）して葬（はうむ）らず、爰（ここ）に④干戈（かんくわ）に及ぶ、⑤孝（かう）と謂（い）ふべけんや。⑥臣（しん）を以（もつ）て君（きみ）を弑（しい）す、仁（じん）と謂ふべけんや。」と。左右（さいう）、⑦之（これ）を兵（へい）せんと欲（ほつ）す。太公（たいこう）曰はく、「⑧此（こ）れ義人（ぎじん）なり。」と。扶（たす）けて之を去（さ）らしむ。

武王、已（すで）に殷（いん）の乱（らん）を平（たひ）らげ、天下（てんか）、周（しう）を宗（そう）とす。而（しか）れども伯夷・叔斉、之を恥（は）ぢ、⑨義（ぎ）として周の粟（ぞく）を食（は）まず、首陽山（しゆやうざん）に隠（かく）れ、薇（び）を采（と）りて之を食（く）らふ。餓（う）ゑて⑩且（まさ）に死（し）せんとするに及びて、歌（うた）を作（つく）る。其（そ）の辞（じ）に曰はく、

「彼（か）の西山（せいざん）に登（のぼ）り、其の薇を采る。⑪暴（ばう）を以て暴に易（か）へ、其の非（ひ）を知（し）らず。神農（しんのう）・虞（ぐ）・夏（か）、忽焉（こつえん）として没（ぼつ）す、⑫我（われ）安（いづ）くにか適帰（てきき）せん。于嗟（ああ）徂（ゆ）かん、命（めい）の衰（おとろ）へたるかな。」と。遂（つひ）に首陽山に餓死（がし）す。

（中略）

或（ある）ひと曰はく、「⑬天道（てんだう）に親（しん）無（な）し、常（つね）に善人（ぜんにん）に与（くみ）す。」と。伯夷・叔斉の若（ごと）きは、善人と謂ふべき者（もの）か非（ひ）か。仁を積（つ）み行（おこな）ひを絜（いさぎよ）くすること此（か）くの如（ごと）くにして餓死せり。且（か）つ七十子の徒（と）、仲尼（ちゆうぢ）独（ひと）り顔淵（がんゑん）を薦（すす）めて好学（かうがく）と為す。然（しか）れども回（くわい）や屢（しばしば）空（むな）しく、糟糠（さうかう）すら厭（あ）かずして、⑭卒（つひ）に蚤夭（さうえう）す。天の善人に報施（はうし）する、其れ何如（いかん）ぞや。盗蹠（たうせき）は日（ひ）に不辜（ふこ）を殺（ころ）し、人の肉（にく）を肝（かん）にし、暴戻恣睢（ぼうれいしき）、党（たう）を聚（あつ）むること数千人（すうせんにん）、天下に横行（わうかう）するも、竟（つひ）に寿（じゆ）を以て終（を）はる。是（こ）れ何（なん）の徳（とく）に遵（したが）へるや。此れ其の尤（もつと）も大（おほ）いに彰明較著（しやうめいかうちよ）なる者なり。

（中略）

余（よ）甚（はなは）だ惑（まど）へり。⑮儻（も）し所謂（いはゆる）天道は、是（ぜ）か非（ひ）か。

語注　孤竹君＝孤竹国（殷の時代の小国）の君主。西伯昌＝西方の諸侯のかしら。武王の父で、のちの周の文王。太公＝太公望。武王の重臣。宗とす＝主君としてあおぐ。首陽山＝山の名。歌の「西山」も同じ。薇＝わらび（ぜんまいとも）。神農・虞・夏＝いにしえの理想の帝王の世。虞は舜、夏は禹の王朝。于嗟＝ああ。七十子（しちじっし）の徒＝孔子のすぐれた弟子七十人あまり。仲尼＝孔子の字（あざな）。顔淵＝孔子の弟子。名は回。屢空し＝ひどく貧しい。糟糠＝酒かすと米ぬか。粗末な食べ物。報施＝報いて与える。盗蹠＝大盗賊の名。不辜＝罪のない人。肝にす＝（人の肉を）なますにして食べる。暴戻恣睢＝乱暴で勝手気まま。彰明較著＝はっきりと目立つこと。余＝わたし（筆者）。※（中略）は順に、兄弟が位を譲り合って二人とも国を去る部分／「由此観之、怨邪非邪」（これから見ると二人は恨んだのか、どうか）と問う一文／近い時代にも悪人が一生楽しく暮らし、正しく生きる人が災いにあう例は数えきれないと述べる部分。※「善人と謂ふべき者か非か」は「〜者に非ずや」、「儻（も）し」は「儻（あるい）は」とも読む。「盍往帰焉」の「焉」は読まない字とした。お使いの教科書に合わせてください。

A　語句の意味と読み（1〜7）

(1)　②「木主（ぼくしゅ）」とは何か。現代の言葉で書け。

(2)　③「叩（ひか）へて」の意味を書け。また、読みを現代仮名遣いの平仮名で書け。

(3)　④「干戈（かんくわ）」の意味を書け。

(4)　⑥「弑（しい）す」の意味を書け。

(5)　⑦「之（これ）を兵（へい）せんと欲（ほつ）す」の「兵す」の意味を書け。

(6)　⑨「義（ぎ）として周の粟（ぞく）を食（は）まず」の「粟」の意味を書け。

(7)　⑭「卒（つひ）に蚤夭（さうえう）す」の「蚤夭」の意味を書け。また、読みを現代仮名遣いの平仮名で書け。

B　句法（8〜13）

(8)　①「盍（なん）ぞ往（ゆ）きて帰（き）せざる」の「盍」は何と呼ばれる字か。読み方と意味もあわせて書け。

(9)　⑤「孝（かう）と謂（い）ふべけんや」の句法の名前と意味を書け。

(10)　⑩「且（まさ）に死（し）せんとする」の「且」は何と呼ばれる字か。読み方と意味もあわせて書け。

(11)　⑪「暴（ばう）を以て暴に易（か）へ、其の非（ひ）を知（し）らず」は、白文では「以暴易暴兮、不知其非矣」である。「兮」「矣」のように、書き下し文では読まない字を何というか。また「兮」は、どのような文章で使われる字か。

(12)　⑬「天道（てんだう）に親（しん）無（な）し、常（つね）に善人（ぜんにん）に与（くみ）す」の白文は「天道無親、常与善人」である。書き下し文の読む順になるように、「無親」と「与善人」に付ける返り点を、それぞれ書け。

(13)　⑮「儻（も）し所謂（いはゆる）天道は、是（ぜ）か非（ひ）か」の「是か非か」は、白文では「是邪非邪」である。この句法の名前と意味を書け。

C 主語・指す内容（14〜18）

(14) ①「盍（なん）ぞ往（ゆ）きて帰（き）せざる」とあるが、伯夷・叔斉が身を寄せようとした相手は誰か。また、そう考えたのはなぜか。

(15) ⑥「臣（しん）を以（もつ）て君（きみ）を弑（しい）す」の「臣」と「君」は、それぞれ誰を指すか。

(16) ⑦「之（これ）を兵（へい）せんと欲（ほつ）す」の主語「左右」とは誰のことか。また「之」は誰を指すか。

(17) ⑧「此（こ）れ義人（ぎじん）なり」と言ったのは誰か。また「此」は誰を指すか。

(18) ⑪「暴（ばう）を以て暴に易（か）へ」の二つの「暴」は、それぞれ誰の、どのような暴虐を指すか。

D 口語訳（19〜22）

(19) ④⑤を含む「父死して葬らず、爰に干戈に及ぶ、孝と謂ふべけんや」を口語訳せよ。

(20) ⑪「暴を以て暴に易へ、其の非を知らず」を、主語を補って口語訳せよ。

(21) ⑫を含む「神農・虞・夏、忽焉として没す、我安くにか適帰せん」を口語訳せよ。

(22) ⑬「天道に親無し、常に善人に与す」を口語訳せよ。

E　内容・記述（23〜25）

（23）⑨「義（ぎ）として周の粟（ぞく）を食（は）まず」とあるが、伯夷・叔斉が周の粟を食べなかったのはなぜか。本文に即して説明せよ。

（24）⑭「卒（つひ）に蚤夭（さうえう）す」の顔淵とは反対の結末をたどった人物として、本文にあげられているのは誰か。また、その人物はどのような人物で、どのような最期をとげたか、説明せよ。

（25）⑮「儻（も）し所謂（いはゆる）天道は、是（ぜ）か非（ひ）か」とあるが、筆者が天道を疑うのはなぜか。⑬の考え方と、本文の三つの例をふまえて、八十字以内で説明せよ。

F　文学史・思想（26〜28）

（26）この文章の出典『史記』の作者は誰か。また、何という王朝の時代の人か。

（27）『史記』は、帝王の記録である「本紀」と、人物の伝記である「列伝」などを中心に組み立てられている。このような歴史書の書き方を何というか。また、『伯夷列伝』は「列伝」の中でどこに置かれているか。

（28）⑬「天道（てんだう）に親（しん）無（な）し、常（つね）に善人（ぜんにん）に与（くみ）す」と同じ言葉は、道家の思想を説いたある書物に見える。その書名を書け。

【テスト直前チェック】この三つ　❶再読文字は「盍」と「且」。「盍ぞ〜ざる＝どうして〜しないのか（〜しよう）」「且に〜んとす＝今にも〜しようとする」。一度だけ読む「且（か）つ」との区別も。　**❷「孝（仁）と謂ふべけんや」は反語。**「〜と言えようか、いや言えない」。「臣を以て君を弑す」の臣＝武王、君＝紂もセットで。　**❸天道を疑う理由は三つの例。**善人の伯夷・叔斉が餓死、学問好きの顔淵が若死に、大悪人の盗蹠が長生き。だから「天道は是か非か」。

▸ 漢文の参考書のおすすめ（楽天・Amazonのリンクつき）　kotennosennsei.com/kanbun-sankousho/　　▸ 解説記事にもどる